

特 集

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)と遺伝子カウンセリング

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)は、BRCA の生殖細胞系列の変異に起因する乳がん及び卵巣癌をはじめとするがんの易罹患性症候群です。一般的には 400～500 人に 1 人が相当するとされます(HBOC 診療の手引き, 2017 年版)。

2013 年に女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが HBOC のため予防的に両乳房を切除したことで注目されました。

BRCA 遺伝学的検査については、転移性乳がん患者さんと初発進行性卵巣がん患者さんにのみ健康保険が使えましたが、令和 2 年から対象となる方が拡大されました。例えば 45 歳以下で乳がんと診断された方などです。

患者さんにとっては乳がんであることはもとより、HBOC と分かった場合の不安は大変なものと思います。少しでもお力になるため、当院では浜松医科大学とタイアップし、プライバシーに十分配慮した上で、遺伝カウンセリングをご紹介します(乳がん患者さんで対象となる方)。



1996 年の PC ゲーム
2001 年、アンジェリーナ・ジョリー
さん主演で映画化

【担当：外科 内山 隆】

医師異動のお知らせ

新 任 (令和 3 年 4 月 1 日付け)

・小児科	なかじま じゅんや 中島 隼也	医師
・整形外科	たじま よしあき 田島 良章	医師
・整形外科	あすかい みつる 飛鳥井 光	医師
・精神科	おおつ だん 大津 団	医師
・消化器内科	すずき たかひろ 鈴木 崇弘	医師
・家庭医療科	こばやし しゅんすけ 小林 駿介	医師
・家庭医療科	もりた しゅうへい 森田 修平	医師

退 任 (令和 3 年 3 月 31 日付け)

・小児科	松下 理恵	医師
・整形外科	鈴木 隆辰	医師
・精神科	藤田 宏治	医師
・家庭医療科	川岡 大才	医師
・家庭医療科	進士 康宏	医師



AIRVO 2（エアボ2）を導入しました

ネーザルハイフロー療法について

菊川市立総合病院では、2019年5月にネーザルハイフロー療法を行う機器 AIRVO 2（エアボ2）を導入しました。ネーザルハイフロー療法とは、経鼻から加温加湿された高流量の酸素を投与する呼吸療法です。この治療法は、非観血式であり、またマスクを使用せず鼻カニューレで行う治療のため、マスク換気に比べ格段に違和感が軽減され、患者様のQOLを高めることができます。セッティングも簡便なため、急性呼吸不全の低酸素血症に対する初動から高リスク患者における抜管後の再挿管率の低減、抜管後の呼吸不全防止を目的とした使用まで選択性が幅広い治療法となります。

当院では、この機器を2台保有しており、患者様の状態に合わせ、より快適な酸素療法が行えるように準備をしています。



AIRVO 2



装着イメージ



治療イメージ

【担当：医療機器安全管理責任者 宮原】

○診療実績

項目	1月	2月
紹介患者数	333 人	297 人
逆紹介患者数	380 人	426 人
1日当り患者数	入院	169.7 人
	外来	178.6 人
	436.2 人	425.4 人
病床利用率	65.3 %	68.7 %
救急搬送件数	121 件	90 件

○受託検査実績

項目	1月	2月
CT	21 件	23 件
MRI	38 件	33 件
超音波検査	5 件	11 件
その他検査	7 件	7 件

【発行】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL：0537-35-2344 Eメール：renkei@kikugawa-hosp.jp

FAX：0537-35-2843 ホームページ：http://www.kikugawa-hosp.jp



©菊川市